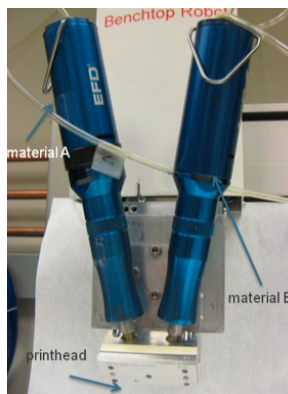
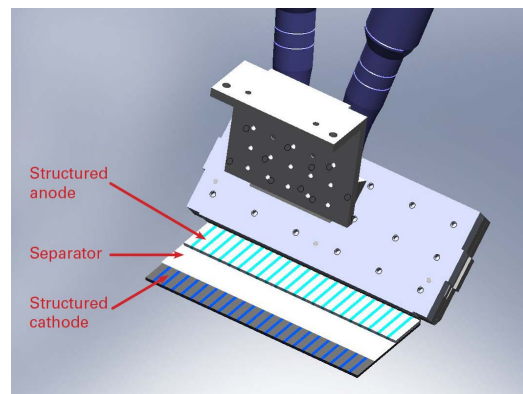


電池の性能を改善し、生産コストを削減するプリントド・インテグラル・バッテリー技術

PARCが開発した画期的な共押出印刷技術は、電池の正極、負極、セパレータの全層を一度に印刷することができるため、電池の性能を大幅に改善するばかりでなく、生産コストの削減にもつながります。



実験用のプリントヘッド



正極、負極、セパレータを一度に印刷(図式化)

PARCが開発した共押出印刷技術、CoExは、費用対効果の高い方法でミクروسケールの表面構造を形成します。この技術を電池の生産に応用した場合、異なる材料が交互に入り組んだ電極を形成することが可能になるため、生産コストを大幅に削減しながら、エネルギー密度と出力密度の両方を最大30%まで向上させることができます。

PARCのイノベーション

PARCは現在、電池の正極、負極、セパレータの全層を一度に同時に集電体に印刷する方法を開発しています。電池の生産過程の中で最後の集電体のラミネート加工だけが必要になるため、通常の前極と負極の平行生産工程から4つのステップが削除されることになります。その結果、塗布やプレス工程、ラミネート加工、収率損失に関わる資本や運

用費、材料費などが削減されるだけでなく、電池の性能も向上されます。この技術は、現在製品化されている大半の電池材料に応用可能で、従来の大量生産のスピードに匹敵するスピードで作動します。

PARCの技術を費用対効果の高い電池の生産技術として応用

全体の生産コストを大幅に削減しながら電池の効率を改善するため、この技術を電池の生産工程に応用したいとお考えの方は、PARCのビジネスデベロップメントまでご連絡ください。

engagejapan@parc.com

PARC(パロアルト研究所、ゼロックスのグループ企業)は、「Business of Breakthroughs[®]」を理念に掲げ、オープンイノベーションを実践しています。フォーチュン500の国際企業からベンチャー企業や政府機関にいたるまで、様々なパートナーにR&Dのサービスやテクノロジー、知的財産や専門知識などを提供しています。お客様のために、ビジネスの新たな選択肢を創出し、市場投入までの期間を短縮、またリスクを削減し、企業全体の競争力を高めます。